

# 日本福祉介護情報学会ニュース

2008年度第3号

2009年2月10日

発行:日本福祉介護情報学会 ( <http://jissi.jp> )

埼玉県新座市北野1-2-26 立教大学コミュニティ福祉学部 森本研究室内 [jissi-mail@e-wel.ne.jp](mailto:jissi-mail@e-wel.ne.jp)

## 【目次】

1.	第9回研究大会を終えて	1
2.	決算	3
3.	第10回研究大会のご案内	4
4.	第4期役員選挙のおしらせ	4
5.	学会紀要について	5
6.	事務局から	5
	(編集後記)	5

## 1. 第9回研究大会を終えて

日本福祉介護情報学会 第9回研究大会 事務局  
(北翔大学) 林 恭裕

第9回研究大会は、2008年11月9日(日)に北海道江別市の北翔大学で45名の参加者で開催された。北翔大学は、人間福祉学部を10年前に開設し、社会福祉士と介護福祉士の養成課程を要しており、札幌市の近郊に位置している。

第9回大会は、大会テーマを「当事者・利用者の生活支援としての福祉情報化」とし、北海道で開催されることから、できるだけ北海道での取り組み事例などを紹介していくことを主眼にプログラムが組まれた。

北海道は、広域なこともあって早くからIT化の取組が行われていた。福祉の情報化においては、北海道の1988年度から1997年度までの長期計画(北海道戦略プロジェクト)で医療福祉INSが位置づけられ、1995年にはWHISNETを活用した北海道INS情報センターが北海道社会福祉協議会に北海道の委託事業として開設し、全道の医療・保健、福祉の機関・施設をネットワーク化する試みが行われた。

第9回研究大会は、午前10時から自由研究発表で始まった。自由研究の発表は、6人の研究者から行われたが、その研究テーマは次のとおりである。自由研究発表への応募は予定を超える応募があり、一部時間の関係でお断りしたケースもあり、盛況であった。

「電話自動応答システムを活用した予防型安否確認システムの提案」

発表者 小川 晃子氏 (岩手県立大学)

「高齢者の能動的発信による安否確認システムの利用端末に関する評価」

発表者 斉藤 建児氏 (川井村社会福祉協議会)

「情報セキュリティ内部監査結果の推移と課題-日野市役所における監査過程を事例に-」

発表者 大谷 二郎氏 (日野市役所)

「福祉サービス第三者評価者のコミュニケーションスキルに関する一考察～評価者と事業者の対話(ダイアログ)を中心に～」

発表者 村田 道彦氏 (芦屋女子短期大学)

「高齢者施設を中心とした防災のための一斉連絡システムに関する実証研究」

発表者 漆山 純一氏 (東北福祉大学)

「地域福祉実践の情報化に関する基礎的研究(その2)」

発表者 小沼 春日氏 (藤女子大学)

午後は、13時15分から総会が行われ、2007年度の活動報告と収支決算報告、2008年度の活動計画と収支予算案が審議された。

総会の後、日本福祉介護情報学会の高橋紘士代表理事から、主催者挨拶を皮切りに午後のプログラムに入って行った。午後のプログラムは、前述した北海道の福祉情報化の取り組みについての報告から始まった。「北海道における福祉情報化の取り組み」と題して、北翔大学の林 恭裕氏が、1995年から2007年度までの北海道INS情報センターの変遷について報告をした。それは、北海道という広域性をカバーするための通信ネットワークを利用して、いつでもどこでも保健福祉医療情報を道民が入手できることを目的に導入されたシステムが、情報の収集と更新において大規模なために迅速性に欠け、結局は陳腐化された情報しか提供できなかったということと、IT技術のめまぐるしい変化について行けずに2007年度で幕を閉じざるを得なかった、ということであった。

次のプログラムは、シンポジウム形式で道内の福祉の情報化に取り組む事例をもとに大会テーマについて議論を重ねた。シンポジストと発題テーマは次のとおりである。なお、コーディネーターは、北翔大学の林恭裕氏、コメンテーターは立教大学の森本佳樹氏であった。

○ ITを活用した在宅障害者支援

NPO 法人 札幌チャレンジド 飯村 富士雄 氏

○ 情報共有のための開発と運用

社会福祉法人 釧路啓生会 能登 肇 氏

○ 地域包括支援センターにおける福祉情報化の取り組み

社会福祉法人旭川市社会福祉協議会

旭川市中央・新旭川地域包括支援センター

所長 松林 邦明氏

○ ひとり暮らし高齢者と地域のふれあい事業

一富良野市生活支援コミュニティ・ネットワークシステム

富良野市社会福祉協議会事務局長濱本 渉氏

飯村氏は、NPO法人である札幌チャレンジドが障害者の社会参加支援技術としてのパソコンの活用を促進するために、パソコン講習などの支援活動について紹介をし、今後の課題としてネットワークの構築や活用などがあることを語った。

能登氏は、釧路市の特別養護老人ホーム北園啓生園の事務局員であるが、一人で入所から在宅を含めた独自の情報システムを開発した経緯を紹介。特に記録を誰もが容易にできるようにするための工夫と入力された記録が様々な職種等に効率よく共有化されるシステムの特徴を語った。

旭川市社会福祉協議会の松林氏は、「中央・新旭川圏域高齢者支援ネットワーク」が、社会資源ガイドブックを編集・発行し、圏域の民生委員、町内会長、地区社協等へ配布した経緯を紹介。単なるガイドブックではなく、生活に密着した情報を拾い集めることにより、住民からの評価を得ることができたことや編纂の過程で地域の新たな課題を明らかになったなどの成果があったという。

富良野市社会福祉協議会の濱本氏は、NTTのLモードを活用したひとり暮らし高齢者の安否確認システムを紹介した。その内容は、ボランティアの協力員が、携帯電話で活動可能な曜日と時間を設定するとセンターから要請があって、一人暮らし高齢者に協力員がお元気コールをしたり、家庭を訪問してボランティア活動をする（ホームサービス）などである。活動をきっかけに協力員と高齢者の日常的な交流が生まれたりしている、という。但し、NTTのLモード自体が廃止されることや、システム開発した企業の倒産があり、現在休止しているという。

こうしたシンポジストの発題を受けて、参加者との活発な意見交換が行われ、第9回研究大会は終了した。

当番校として第9回研究大会の準備から運営まで行ったが、北海道における会員が2名という現状から、果たして参加者がどの程度になるのか全く読めず直前まで不安であった。おかげさまで無事終えることはできてほっとしている。シンポジウムに快く承諾してくれたシンポジストの多大な協力や事務局を担ってくれた学生や職員の方に感謝申し上げる次第である。遠方から参加してくれた全国の会員の皆様にも深くお礼申し上げます。

## 2. 決算

日本福祉介護情報学会理事・事務局  
(立教大学) 森本 佳樹

2008年11月9日(日)の日本福祉介護情報学会第9回研究大会において会員総会が開催され、2007年度事業報告・決算が承認されました。スペースの関係上、決算だけを報告します。

### 《収入の部》

(単位:円)

項 目	予 算	決 算	増 減	摘 要
1 入会金収入	140,000	30,000	110,000	
1-1 正会員	30,000	24,000	6,000	@3,000×8人
1-2 学生会員	10,000	6,000	4,000	@2,000×3人
1-3 法人会員	100,000	0	100,000	@100,000×0社
1-4 賛助会員	0	0	0	@30,000×0人
2 会費収入	1,190,000	1,073,000	117,000	
2-1 正会員	630,000	671,000	△ 41,000	@6,000×112人分(実76人)
2-2 学生会員	60,000	102,000	△ 42,000	@3,000×34人分(実17人)
2-3 法人会員	500,000	300,000	200,000	@100,000×3社
2-4 賛助会員	0	0	0	@30,000×0人
3 参加費収入	50,000	54,000	△ 4,000	
3-1 参加費収入	50,000	54,000	△ 4,000	3/22 学習会
4 雑収入	6,000	221,355	△ 215,355	
4-1 雑収入	6,000	221,355	△ 215,355	預金利子・大会返礼金
5 繰越金	3,354,000	3,603,830	△ 249,830	2006年度決算繰越額
5-1 基本財産繰越金収入	1,054,000	1,068,000	△ 14,000	
5-2 前年度繰越金収入	2,300,000	2,535,830	△ 235,830	
合計	4,740,000	4,982,185	△ 242,185	

### 《支出の部》

項 目	予 算	決 算	増 減	摘 要
1 事業費	1,090,000	705,389	384,611	
1-1 理事会開催費	350,000	152,100	197,900	理事会2回分延5名
1-2 研究大会助成費	350,000	350,000	0	田園調布学園大学
1-3 委員会費	60,000	60,039	△ 39	HPドメイン費用
1-4 紀要発行費	230,000	142,950	87,050	3号発送費用・4号印刷費用
1-5 学習会開催費	100,000	300	99,700	3/22 学習会消耗品
2 事務費	200,000	54,375	145,625	
2-1 什器・備品費	20,000	0	20,000	
2-2 印刷費	80,000	0	80,000	
2-3 通信費	70,000	48,075	21,925	ニューズレター送料他
2-4 事務補助員費	30,000	6,300	23,700	
3 繰越金	1,194,000	4,222,421	△ 3,028,421	
3-1 基本財産繰越金	1,194,000	1,098,000	96,000	入会金及び入会金繰越充当
3-2 次年度繰越金	0	3,124,421	△ 3,124,421	
4 予備費	2,256,000	0	2,256,000	
合計	4,740,000	4,982,185	△ 242,185	

### 3. 第10回研究大会のご案内

日本福祉介護情報学会理事・第10回研究大会 事務局  
(立教大学) 森本 佳樹

2009年度の第10回大会は、立教大学で開催されることになりました。時期、会場、内容等は未定ですが、第10回の記念大会になりますので、多くの方の参加が得られるような、時宜を得たテーマにしたいと考えています。詳細が決まり次第お知らせしますので、よろしくお願いします。

### 4. 第4期役員選挙のおしらせ

日本福祉介護情報学会理事・事務局  
(立教大学) 森本 佳樹

日本福祉介護情報学会は2000年6月に設立されて以来9年(3期)間、若干の補充等は行いながらも、基本的には現在の役員体制で、学会の運営を行ってきました。それは、学会の設立直後は、その基盤が十分に確立されていないとの認識から、当分のあいだは、設立時の役員で運営を進めたほうが良いとの認識があったからで、任期満了のたびに、総会の承認を得て、継続してきたところ

です。しかし、今年の5月末に第3期の役員体制の任期が満了するにあたり、基盤もほぼ確立したとの認識から、第4期の体制は役員選挙によって決めることを、11月の会員総会に諮り、承認を得ました。そこで、今後、以下のスケジュールで役員選挙を行いたいと考えていますので、会員各位にはご承知おきいただき、選挙権者・被選挙権者確定のための問い合わせ作業、投票等にご協力いただきたいと存じます。

なお、選挙にあたっては、会則第11条にある「3年以上会費未払い者」の除名規程を適用することにしました。したがって、除名者には選挙権・被選挙権が付与されなくなりますので、会費未納者は、至急、会費の支払い手続きをしていただきたくお願いする次第です。

#### ■今後のスケジュール

2月下旬	選挙権者・被選挙権者確定のための問い合わせ作業
3月下旬	第1回選挙管理委員会(選挙権者・被選挙権者の確定)
4月上旬	投票用紙発送
4月末	投票締め切り
5月上旬	第2回選挙管理委員会(開票、役員就任候補者の確定)
5月中旬	役員就任候補者の就任諾否の確認
5月下旬	新旧理事会

#### ■会費未払い者へのご案内

上記、役員選挙でも触れましたが、会費未納3年以上の会員には会則第11条の除名規程を適用することになりました。会費未納者は、単年度未納者も含め、至急会費をお支払いいただきたく、お願い申し上げます。

## 5. 学会紀要について

日本福祉介護情報学会理事・紀要編集委員長  
(関西学院大学) 生田 正幸

学会研究紀要「福祉情報研究」第5号の刊行が、諸般の事情により遅れておりますことを深くお詫びいたします。今しばらくの猶予をいただき、年度内にはお届けできるよう作業を進めてまいりたいと思います。

第6号につきましては、2008年11月9日に北海道江別市の北翔大学で「当事者・利用者の生活支援としての福祉情報化」をテーマに開催されました日本福祉介護情報学会第9回研究大会を中心に編集を進めております。また、投稿論文につきましても、まだ掲載の余地がありますので、ご希望の方は事務局までお問い合わせください。

すでにご承知かと思いますが、「福祉情報研究」は、投稿論文について査読制度を導入しています。近頃では、研究業績として査読審査された論文を求められることも多くなっていますので、会員の皆様の積極的なご投稿をお待ちしています。

## 6. 事務局から

日本福祉介護情報学会理事・事務局  
(東京都社会福祉協議会) 須永 誠

前記の「役員選挙のご案内」に日程がありますように、今後、①本年度までの会費未納会員へ、「会費等納入依頼文」をお送りし、その後、②選挙権者・被選挙権者確定のための「名簿記載事項確認の問い合わせ」をお送りし、役員選挙に向けた準備を進めていきます。

なにぶんはじめての選挙であり、事務局でも手探りで準備を進めていますので、今後、日程の忙しいご連絡や願いを申し上げることがあると思いますが、ご協力方をお願いいたします。

### ■連絡先不明会員についてのお問い合わせ

下記会員につきましては、ご連絡が取れない状態になっております。動静をご存知でしたら事務局までご一報ください。(以下記載は、「氏名・学会登録の連絡先県名」の順)

五島 績 様 ・東京都  
錦織 正憲 様 ・神奈川県  
大河内 二郎 様 ・東京都  
吉濱 暢恭 様 ・東京都

### ■会員加入状況 (2008年 12月末日現在)

個人会員 125名 / 学生会員 27名 / 法人会員 3法人 (登録 4名)

~~~~~      ~~~~~      ~~~~~      ~~~~~

**(編集後記)** 今年度もニュースレターを3回発刊することができました。理事の皆様のご協力のおかげと、感謝しております。記事にもある通り、選挙が行われます。次号は、その関連で発刊する予定です。

時節柄、皆様におかれましてはくれぐれもご自愛ください。

日本福祉介護情報学会理事・ニュースレター担当  
(岩手県立大学) 小川 晃子